

## 市民への協働に関する意識啓発イベントの実施について

### (前回の振り返り)

分類	前回いただいたご意見(抜粋)
ターゲット	(1)60代(昔は会社を辞めたらすぐに地域へ出たが、今はそういう状況ではない。一番可能性が高いのは60代) (2)子育て世代 (3)地域活動に興味はあるがまだ関わっていない人
テーマ	(1)自治会、コミュニティの存在意義を考えるときっかけに繋がるようなテーマ (2)ソーシャル・キャピタル(人々の関係性やつながりを資源としてとらえる概念)がもたらす効果
実施方法	ワークショップ形式
その他	(1)自治会に期待しない、コミュニティに期待しない、かかわりも必要ではない、自分たちのことは自分たちでできるし市にも自分たちで言っていく、という感覚の方も多くおられるという現実に対応しないと空振りに終わると危惧している。 (2)地域活動に関心はあるが関わっていない人が本当にやりたいことを自由にできる、強制的ではなく自主的に楽しんだり、楽しみ方を知ったり、まちを面白がるというか権限を与えて活動ができる場を作っていくというイベントが望ましい。 (3)公助がなくなったら自身に戻ってくるということなど、そういうことはみんなまず認識がないし、いつまでも行政がやってくれると思っていると思うので、その辺は危機感の前段階というか、むしろみんな知らないなので、教えてあげる。そういう機会が今はまずない。それを知る機会がない。 (4)地域活動を行う場を提供する。イベント企画段階から参加してもらう。